

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立伏見小学校 第3学年 115名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックミュージアムの施設での体験を通して、オリンピック・パラリンピック競技への理解を深め、冬期間における体力向上を図る。</li> <li>・夢の実現に向かって、精一杯努力し続けている人との出会いを通じ、自身の将来について考える。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックの選手が周りの人々の温かい支えによって、困難を乗り越えて夢を実現している事実から、支えてくれる周りの人々への感謝の気持ちを持ち、自分の目標に向かって努力し続けようとする。</li> </ul>
5 取組内容	○指導計画【10時間扱い】 総合的な学習の時間 8時間 国語（『わたしの研究レポート』）1時間 道徳（『希望と勇気、努力と強い意志』）1時間  ○取組の様子  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【種目の体験活動】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【札幌の街並みの観察】</p> </div> </div>

	<p>オリンピック・パラリンピックについての映像や資料から、興味・関心を高め、子ども一人一人が調べ学習を行い、競技や障がいなどへの理解を深めた。札幌オリンピックミュージアムを訪れて館内を見学し、実際に選手の講話を聞いた。事前学習で自分の課題を見付け、札幌オリンピックミュージアムを訪れて、体験したことや調べたことを、自分の課題に沿ってまとめた。自分自身の夢の実現に向けて、今後の生活に生かそうとする姿があった。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する報道が多くあり、子どもの興味・関心が高まった。</li> <li>・「なぜ、オリンピックとパラリンピックが行われているか。」という課題をもち、開催する意義や競技の種類など、意欲的に学習を進めた。実際にオリンピックミュージアムを見学することによって、事前に調べた内容を確認、さらに新たな課題を見付けた。</li> <li>・子どもはオリンピックから努力を重ねた話や周りに支えられた話などを直接聞くことができ、自分の生き方を考えるきっかけとなった。また、実際にジャンプ場を見学して、急な斜面を滑る大変さを実感した。</li> </ul>
7 実践において工夫した点	<p>総合的な学習の時間として単元を構成した。事前に道徳「希望と勇気、努力と強い意志」や国語科「わたしの研究レポート」と関連させて、理解を深めた。</p>
8 主な課題等	<p>オリンピックミュージアムの見学では、オリンピックの講話と館内の見学があった。見学の時間が短く、子どもの体験の時間を十分に確保できなかった。</p>
9 今後の取組について	<p>オリンピック・パラリンピック教育を総合的な学習の時間として、教育課程に位置付け、より他教科との関連を図る。</p>